

平成21年3月期 第2四半期決算短信〔米国会計基準〕

平成20年11月10日

上場会社名 日本ハム株式会社

上場取引所 東 大

コード番号 2282 URL <http://www.nipponham.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小林 浩

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員グループ経営本部長

(氏名) 竹添 昇

TEL 06-6282-3171

四半期報告書提出予定日 平成20年11月12日

(百万円未満四捨五入)

1. 平成21年3月期第2四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		税引前四半期純利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第2四半期	536,814	6.0	20,275	233.2	11,032	—	6,476	—
20年3月期第2四半期	506,448	4.3	6,085	1.7	△429	—	△2,229	—

	1株当たり四半期純利益	希薄化後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第2四半期	28.38	28.33
20年3月期第2四半期	△9.77	—

(注)営業利益は日本の会計慣行に従い、売上高から売上原価、販売費及び一般管理費を控除して算出しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
21年3月期第2四半期	635,764	290,271	45.7	1,272.18
20年3月期	608,809	287,457	47.2	1,259.74

(注)株主資本、株主資本比率、1株当たり株主資本は米国会計基準に基づき記載しております。

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
(基準日)	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	—	—	16.00	16.00
21年3月期	—	—	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	16.00	16.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		税引前当期純利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,075,000	4.1	24,000	37.2	20,000	306.3	12,000	671.7	52.59

(注)連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う子会社の異動) 無

新規 — 社(社名) 除外 — 社(社名)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注)詳細は4ページ「4. その他(3)四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更」をご参照下さい。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	21年3月期第2四半期	228,445,350株	20年3月期	228,445,350株
② 期末自己株式数	21年3月期第2四半期	277,207株	20年3月期	257,001株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	21年3月期第2四半期	228,178,069株	20年3月期第2四半期	228,192,628株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

業績全般の状況

当第2四半期のわが国経済は、サブプライムローン問題に端を発する米国経済の悪化や、依然として高い水準にある原油価格などを背景にして輸出や生産が弱含みになる中、個人消費も伸び悩むなど景気後退色が一層鮮明となりました。

当業界におきましても、原料価格の高騰や燃料費、資材費の上昇が続いており、依然として厳しい経営環境下にあります。

このような中、当社グループは、新中期経営計画パートⅡに掲げた「弛まぬ変革・挑戦による企業価値向上」を果たすべく、様々な経営課題に取り組んでまいりました。加工事業のコスト競争力向上を図るため、生産拠点や営業体制の再編を推し進めるとともに、当社の強みである自社グループ農場から全国に営業拠点を展開する販売会社までの一貫供給体制であるインテグレーションシステムを活かし、食肉の拡販に努めました。また、海外売上げや事業領域の拡大を図るための布石となる諸施策を講じてまいりました。その一方で、社会全般の食への安全・安心に対する関心がかつてなく高まる中、品質監査の一層の充実や海外を含めた検査体制の拡充など、品質保証機能の強化を徹底してまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は対前年同期比 6.0%増の 536,814 百万円となりました。利益につきましては、営業利益は主に食肉の相場高やコストダウンにより対前年同期比 233.2%増の 20,275 百万円となりましたが、第2四半期末の急激な為替相場の変動により為替差損が 5,162 百万円発生したことなどにより、税引前四半期純利益は 11,032 百万円(前年同期は 429 百万円の税引前四半期純損失)、四半期純利益は 6,476 百万円(前年同期は 2,229 百万円の四半期純損失)となりました。

オペレーティング・セグメントの概況

(加工事業本部)

ハム・ソーセージ部門は外食を中心とした業務用のチャネルは苦戦しましたが、量販チャネルにおいて「シャウエッセン」や「森の薫り」など主力ブランドの販売促進を行うとともに、独自の製法による糖質ゼロのハム・ソーセージ類の新商品「新鮮生活ZEROシリーズ」の発売や大手流通に対する提案営業を強化したことなどにより、売上げを伸長させました。中元ギフト商戦も好調に推移し、売上げの伸長に寄与しました。

加工食品部門は6月に価格改定を行い、同時に店頭での販売促進活動をきめ細かく実施したことにより、量販チャネルを中心に売上げを伸長させました。商品別ではピザ・ベーカリー類の「石窯工房」群が大幅に伸長するとともに内食回帰のトレンドに対応した新商品や秋冬向け新商品も売上げに貢献しました。また、生産拠点や製造ラインの集約化による生産効率の改善を実施し、収益の拡大を図りました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の加工事業本部の売上高は対前年同期比 2.1%増の 159,206 百万円、営業利益は対前年同期比 612.4%増の 1,724 百万円となりました。

(食肉事業本部)

食肉事業本部は、全国に拠点を持つ販売会社の営業力とグローバルな調達力を活かし、売上数量の拡大を図りました。国際的な食料需要の増大や消費者の内食志向、国内志向を背景にした食肉の相場高も加わり、鶏肉を中心に売上げを伸長させました。

川上分野は相場高の追い風もありましたが、生産性向上策や疾病対策を行ったことなどにより豚・鶏などの出荷頭(羽)数・重量ともに順調に推移し、飼料価格の上昇を補いました。

海外事業につきましては、豪州事業は生産性向上を強力に推進し、営業利益は改善しました。米国の養豚事業は、生産効率の向上努力を上回る飼料コストの上昇と米国全体の出荷頭数が多く相場が低迷したことから、厳しい状況が続きました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の食肉事業本部の売上高は対前年同期比 7.7%増の 368,079 百万円、営業利益は対前年同期比 170.6%増の 17,900 百万円となりました。

(関連企業本部)

水産部門は、「ウナギ」が消費者の中国産離れによる影響を受けて苦戦しましたが、「サーモン」・「海老」などの寿司種や国内産地鮮魚を量販店、外食店中心に拡販しました。また、価格改定に引き続き取り組むとともに、加工工程の見直しなどによるコスト削減策を推し進め、収益の拡大を図りました。

乳製品部門は、ヨーグルト・乳酸菌飲料につきましては、「脂肪0%」シリーズが好調に推移しましたが、価格改定を行った既存品の落ち込みが大きく、売上げは厳しい状況でした。一方、チーズにつきましては食品全般の値上げが影響し、大手製パン等での使用量が減少しましたが、他の大口ユーザー向けの売上げが好調だったことに加え、価格改定の浸透により売上げは微増となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の関連企業本部の売上高は対前年同期比0.2%増の65,467百万円、営業利益は305百万円（前年同期は690百万円の営業損失）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

《財政状態》

当第2四半期末の総資産は、前期末に比べ棚卸資産が19,688百万円、受取手形及び売掛金が8,458百万円それぞれ増加したことなどにより前期末比4.4%増の635,764百万円となりました。負債については、普通社債9,700百万円を償還しましたが、前期末に比べ支払手形及び買掛金が17,942百万円、短期借入金が16,460百万円それぞれ増加したことなどにより、前期末比7.6%増の343,368百万円となりました。なお、有利子負債は前期末から3,259百万円増加し186,798百万円となりました。

株主資本は、前期末比1.0%増の290,271百万円となりましたが、株主資本比率は総資産が増加したことから1.5ポイント低下し45.7%となりました。

《キャッシュ・フロー》

営業活動によるキャッシュ・フローは、棚卸資産の増加などはありませんでしたが、四半期純利益、減価償却費、支払手形及び買掛金の増加などにより、19,536百万円の純キャッシュ増となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、固定資産の取得8,371百万円などにより8,445百万円の純キャッシュ減となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金の増加はありませんでしたが、現金配当及び長期債務の返済などにより2,942百万円の純キャッシュ減となりました。

これらの結果、当第2四半期末の現金及び現金同等物残高は前期末に比べ8,149百万円増加し52,398百万円となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

今期の見通しにつきましては、原材料価格や燃料価格・飼料価格の動向に加え、為替相場の急激な変動や米国に端を発した金融危機の影響による国内外の景気後退、更なる個人消費の冷え込みが懸念され、先行きは不透明な状況が続くと予想されます。

この厳しい事業環境を乗り越えるため、当社グループは、品質保証と環境保全への取り組みの強化を基盤に、生産性の向上と原材料の有利な調達に努めるとともに市場ニーズにマッチした商品開発を推進してまいります。また、全社的な戦略としてテレビコマーシャルを中心とした積極的な広告宣伝によりブランド価値を高め、売上げの拡大を図ってまいります。食肉事業におきましては、一部の商品の相場が弱含んでいる現状の中、インテグレーションシステムの強みと全畜種を扱う総合力を発揮して売上げと収益の拡大に注力する所存です。

このような状況を踏まえ、通期連結業績につきましては、今後の業績推移や事業環境などを見極めた上で判断したいと考えますので、現時点では見通しを据え置いております。

将来情報に関するご注意

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報及び当社が合理的であると判断する一定の前提に基づいたものであり、実際の業績等は今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更 : 有

平成18年9月に、米国財務会計基準審議会は、財務会計基準書(以下、「基準書」といいます。)第157号「公正価値による測定」を発行しました。当社は、平成20年4月1日より基準書第157号を適用しております。基準書第157号適用による当社の経営成績及び財政状態に与える重要な影響はありません。

(4) 連結財務諸表の作成基準

当社の連結財務諸表は、米国で一般に公正妥当と認められた会計基準に準拠して作成しております。また、当期の表示に合せて前期の数値を一部組替えて表示しています。

5. 連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	当第2四半期連結会計期間末 (平成20年9月30日現在)	前連結会計年度末に係る 連結貸借対照表 (平成20年3月31日現在)
(資産の部)		
流動資産		
現金及び現金同等物	52,398	44,249
定期預金	16,027	16,289
有価証券	75	388
受取手形及び売掛金	118,542	110,084
貸倒引当金	△ 578	△ 457
棚卸資産	131,906	112,218
繰延税金	7,303	8,566
その他の流動資産	11,806	13,389
流動資産合計	337,479	304,726
投資及び長期債権		
関連会社に対する投資及び貸付金	2,435	2,220
その他の投資有価証券	18,010	18,672
保証金及びその他の投資	10,821	10,830
投資及び長期債権合計	31,266	31,722
有形固定資産(減価償却累計額控除後)	240,217	246,874
長期繰延税金	12,247	12,954
その他の資産	14,555	12,533
資産合計	635,764	608,809
(負債及び資本の部)		
流動負債		
短期借入金	72,887	56,427
一年以内に期限の到来する長期債務	6,653	18,540
支払手形及び買掛金	105,238	87,296
未払法人税等	2,885	1,983
繰延税金	636	579
未払費用	15,563	15,460
その他の流動負債	13,796	11,242
流動負債合計	217,658	191,527
退職金及び年金債務	13,709	14,299
長期債務(一年以内期限到来分を除く)	109,448	110,940
長期繰延税金	2,553	2,471
少数株主持分	2,125	2,115
資本		
資本金	24,166	24,166
資本剰余金	50,984	50,944
利益剰余金		
利益準備金	7,022	6,903
その他の利益剰余金	211,636	208,930
その他の包括損失累計額	△ 3,192	△ 3,173
自己株式	△ 345	△ 313
資本合計	290,271	287,457
負債及び資本合計	635,764	608,809

(注) その他の包括損失累計額の内訳
 売却可能有価証券未実現評価損益 1,392
 デリバティブ未実現評価損益 △ 153
 年金債務調整勘定 △ 5,224
 外貨換算調整勘定 793

当第2四半期連結会計期間末
 1,392
 △ 153
 △ 5,224
 793

前連結会計年度末
 1,778
 △ 335
 △ 5,556
 940

(2)-1 四半期連結損益計算書(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

科 目	当 第 2 四 半 期 連 結 累 計 期 間 自 平 成 20 年 4 月 1 日 至 平 成 20 年 9 月 30 日	前 年 同 四 半 期 連 結 累 計 期 間 自 平 成 19 年 4 月 1 日 至 平 成 19 年 9 月 30 日
収 益		
売 上 高	536,814	506,448
そ の 他	744	1,674
収 益 合 計	537,558	508,122
原 価 及 び 費 用		
売 上 原 価	431,978	414,614
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	84,561	85,749
支 払 利 息	1,377	1,409
そ の 他	8,610	6,779
原 価 及 び 費 用 合 計	526,526	508,551
税金等調整前四半期純利益 又は四半期純損失(△)	11,032	△ 429
法人税等	4,751	1,820
持分法による投資損益前四半期純利益 又は四半期純損失(△)	6,281	△ 2,249
持分法による投資損益 (法人税等控除後)	195	20
四半期純利益 又は四半期純損失(△)	6,476	△ 2,229

(2)-2 四半期連結損益計算書(第2四半期連結会計期間)

(単位：百万円)

科 目	当 第 2 四 半 期 連 結 会 計 期 間 自 平 成 20 年 7 月 1 日 至 平 成 20 年 9 月 30 日	前 年 同 四 半 期 連 結 会 計 期 間 自 平 成 19 年 7 月 1 日 至 平 成 19 年 9 月 30 日
収 益		
売 上 高	269,994	257,614
そ の 他	371	190
収 益 合 計	270,365	257,804
原 価 及 び 費 用		
売 上 原 価	216,688	211,047
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	42,772	43,342
支 払 利 息	694	690
そ の 他	11,031	6,058
原 価 及 び 費 用 合 計	271,185	261,137
税金等調整前四半期純損失(△)	△ 820	△ 3,333
法 人 税 等	408	679
持分法による投資損益前 四半期純損失(△)	△ 1,228	△ 4,012
持分法による投資損益 (法人税等控除後)	193	28
四半期純損失(△)	△ 1,035	△ 3,984

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

項 目	当第2四半期 連結累計期間 自平成20年4月 1日 至平成20年9月30日	前年同四半期 連結累計期間 自平成19年4月 1日 至平成19年9月30日	(参 考) 前連結会計年度 自平成19年4月 1日 至平成20年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー：			
四半期(当期)純利益(△損失)	6,476	△ 2,229	1,555
調 整 項 目：			
減 価 償 却 費	11,880	11,734	24,486
固 定 資 産 減 損 損 失	1,084	2,499	2,714
繰 延 税 金	1,746	146	138
受取手形及び売掛金の(△増)減	△ 8,814	△ 8,697	5,809
棚 卸 資 産 の (△ 増) 減	△ 21,832	△ 8,015	408
その他の流動資産の(△増)減	3,192	△ 2,470	811
支払手形及び買掛金の増(△減)	18,179	8,157	△ 6,260
未払法人税等の増(△減)	921	△ 2,211	△ 1,994
未払費用及びその他の流動負債の増	4,249	3,990	1,373
そ の 他 — 純 額	2,455	△ 1,166	69
営業活動による純キャッシュ増	19,536	1,738	29,109
投資活動によるキャッシュ・フロー：			
固 定 資 産 の 取 得	△ 8,371	△ 8,821	△ 18,632
固 定 資 産 の 売 却	649	363	1,650
定期預金の(△増)減	△ 155	876	△ 9,764
有価証券及びその他の投資有価証券の取得	△ 252	△ 97	△ 2,137
有価証券及びその他の投資有価証券の売却	319	222	2,270
保証金及びその他の投資の(△増)減	△ 487	292	630
そ の 他 — 純 額	△ 148	△ 21	△ 810
投資活動による純キャッシュ減	△ 8,445	△ 7,186	△ 26,793
財務活動によるキャッシュ・フロー：			
現 金 配 当	△ 3,663	△ 3,677	△ 3,677
短期借入金の増(△減)	16,411	7,230	△ 7,633
長期債務の借入	5	1,421	31,426
長期債務の返済	△ 15,663	△ 6,768	△ 12,630
そ の 他 — 純 額	△ 32	△ 23	△ 35
財務活動による純キャッシュ増(△減)	△ 2,942	△ 1,817	7,451
純キャッシュ増(△減)	8,149	△ 7,265	9,767
期首現金及び現金同等物残高	44,249	34,482	34,482
四半期(当期)末現金及び現金同等物残高	52,398	27,217	44,249
補足情報：			
四半期(当期)キャッシュ支払額			
支 払 利 息	1,404	1,492	2,705
法 人 税 等	△ 696	4,346	6,904
キャピタルリース債務発生額	1,712	714	2,034

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

オペレーティング・セグメント情報

連結会社のオペレーティング・セグメントは、以下の3つの事業グループから構成されています。

加工事業本部：主にハム・ソーセージ、加工食品の製造・販売

食肉事業本部：主に食肉の生産・販売

関連企業本部：主に水産物・乳製品の製造・販売

当第2四半期連結累計期間（平成20年4月1日～平成20年9月30日）

（単位：百万円）

科 目	加工事業 本 部	食肉事業 本 部	関連企業 本 部	計	消 去 調整他	連 結
売 上 高						
(1) 外部顧客に対する売上高	152,150	326,386	63,660	542,196	(5,382)	536,814
(2) セグメント間の内部売上高	7,056	41,693	1,807	50,556	(50,556)	-
計	159,206	368,079	65,467	592,752	(55,938)	536,814
営 業 費 用	157,482	350,179	65,162	572,823	(56,284)	516,539
営 業 利 益	1,724	17,900	305	19,929	346	20,275

前年同四半期連結累計期間（平成19年4月1日～平成19年9月30日）

（単位：百万円）

科 目	加工事業 本 部	食肉事業 本 部	関連企業 本 部	計	消 去 調整他	連 結
売 上 高						
(1) 外部顧客に対する売上高	149,397	299,161	63,630	512,188	(5,740)	506,448
(2) セグメント間の内部売上高	6,513	42,587	1,683	50,783	(50,783)	-
計	155,910	341,748	65,313	562,971	(56,523)	506,448
営 業 費 用	155,668	335,132	66,003	556,803	(56,440)	500,363
営 業 利 益（△ 損 失）	242	6,616	△ 690	6,168	(83)	6,085

- (注) 1. 「消去調整他」には、配賦不能項目、セグメント間の内部取引消去などが含まれています。
2. 全社費用及び特定の子会社の損益は、一部の配賦不能項目を除き、各報告オペレーティング・セグメントに配賦しています。これらの子会社は、各報告オペレーティング・セグメントに含まれる連結会社のために間接的なサービス及び業務支援を行っています。
3. 営業利益は、売上高から売上原価、販売費及び一般管理費を控除して算出しています。
4. 平成20年4月1日付で、一部の子会社の管轄事業本部を変更したため、関連する各報告オペレーティング・セグメントの前年同四半期連結累計期間について組替再表示を行っています。

当第2四半期連結会計期間（平成20年7月1日～平成20年9月30日）

（単位：百万円）

科 目	加工事業 本 部	食肉事業 本 部	関連企業 本 部	計	消 去 調整他	連 結
売 上 高						
(1) 外部顧客に対する売上高	78,363	161,948	32,428	272,739	(2,745)	269,994
(2) セグメント間の内部売上高	3,543	21,243	817	25,603	(25,603)	-
計	81,906	183,191	33,245	298,342	(28,348)	269,994
営 業 費 用	81,024	173,713	33,247	287,984	(28,524)	259,460
営 業 利 益（△ 損 失）	882	9,478	△ 2	10,358	176	10,534

前年同四半期連結会計期間（平成19年7月1日～平成19年9月30日）

（単位：百万円）

科 目	加工事業 本 部	食肉事業 本 部	関連企業 本 部	計	消 去 調整他	連 結
売 上 高						
(1) 外部顧客に対する売上高	76,670	151,705	32,151	260,526	(2,912)	257,614
(2) セグメント間の内部売上高	3,250	20,563	868	24,681	(24,681)	-
計	79,920	172,268	33,019	285,207	(27,593)	257,614
営 業 費 用	79,427	168,919	33,495	281,841	(27,452)	254,389
営 業 利 益（△ 損 失）	493	3,349	△ 476	3,366	(141)	3,225

- （注） 1. 「消去調整他」には、配賦不能項目、セグメント間の内部取引消去などが含まれています。
2. 全社費用及び特定の子会社の損益は、一部の配賦不能項目を除き、各報告オペレーティング・セグメントに配賦しています。これらの子会社は、各報告オペレーティング・セグメントに含まれる連結会社のために間接的なサービス及び業務支援を行っています。
3. 営業利益は、売上高から売上原価、販売費及び一般管理費を控除して算出しています。
4. 平成20年4月1日付で、一部の子会社の管轄事業本部を変更したため、関連する各報告オペレーティング・セグメントの前年同四半期連結会計期間について組替再表示を行っています。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

平成21年3月期第2四半期累計期間

補 足 資 料

日 本 ハ ム 株 式 会 社

平成20年11月

I ハイライト情報

《連結決算》

(単位：百万円、%)

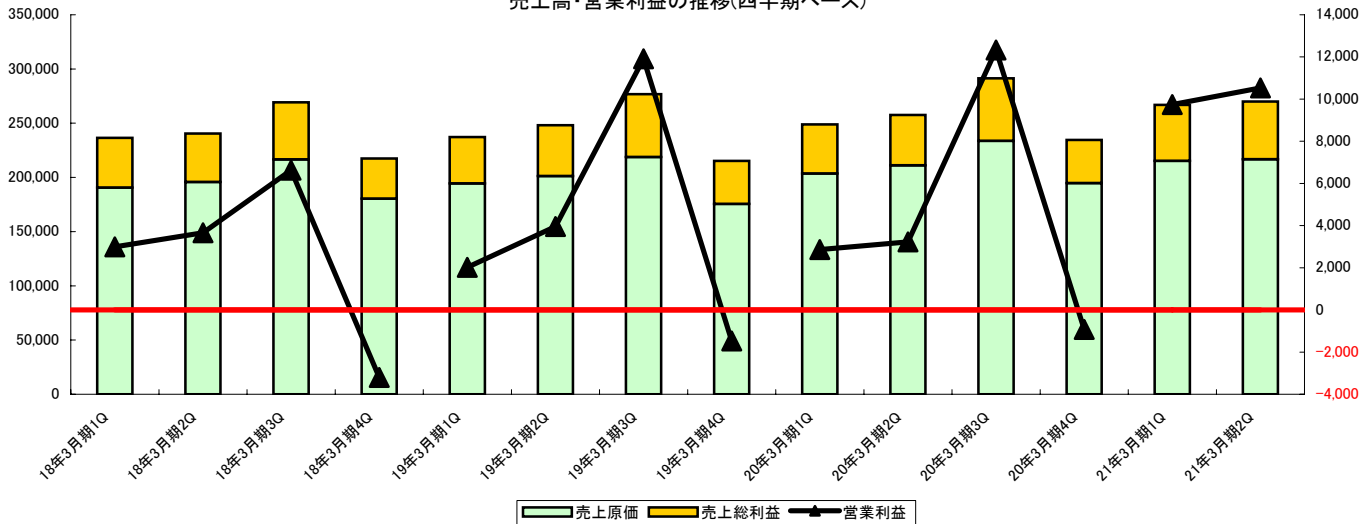
	17年3月期 第2四半期 累計期間 (実績)	18年3月期 第2四半期 累計期間 (実績)	19年3月期 第2四半期 累計期間 (実績)	20年3月期 第2四半期 累計期間 (実績)	21年3月期 第2四半期 累計期間 (実績)	対前年比	21年3月期 (予想)
売上高	469,679	476,969	485,388	506,448	536,814	6.0%	1,075,000
売上総利益	102,366	90,628	89,800	91,834	104,836	14.2%	
営業利益	16,823	6,653	5,981	6,085	20,275	233.2%	24,000
税引前四半期純利益	13,811	4,069	4,453	△429	11,032	—	20,000
四半期純利益	8,325	3,072	2,533	△2,229	6,476	—	12,000

売上高営業利益率	3.6%	1.4%	1.2%	1.2%	3.8%	2.2%
総資産税引前利益率(ROA)	2.2%	0.7%	0.7%	△0.1%	1.8%	

売上高・売上総利益

売上高・営業利益の推移(四半期ベース)

営業利益



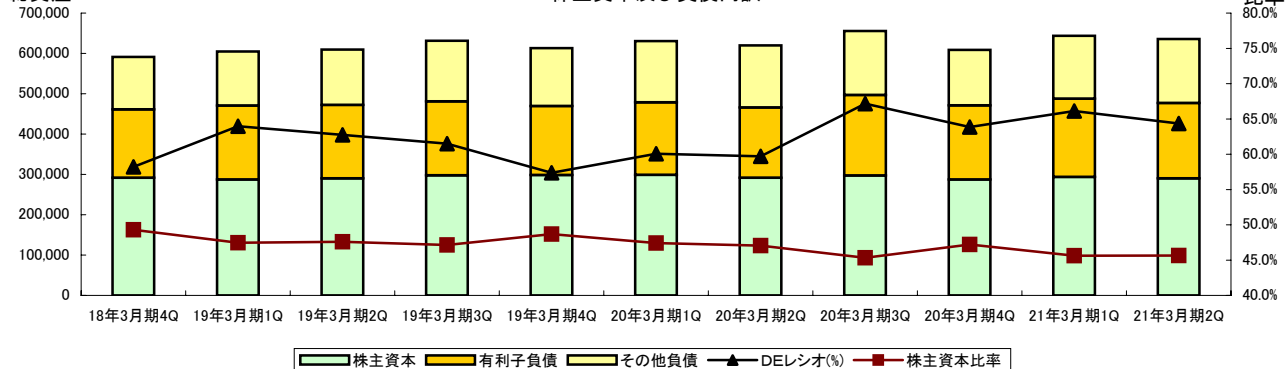
総資産	619,051	615,086	609,605	619,672	635,764	2.6%
株主資本	266,499	283,283	290,188	291,605	290,271	△0.5%
有利子負債	181,502	174,943	182,049	174,129	186,798	7.3%

設備投資額	9,749	11,263	8,588	9,632	9,670	0.4%	21,000
減価償却費	11,669	11,471	11,327	11,557	11,557	0.0%	24,000

総資産

株主資本及び負債内訳

比率



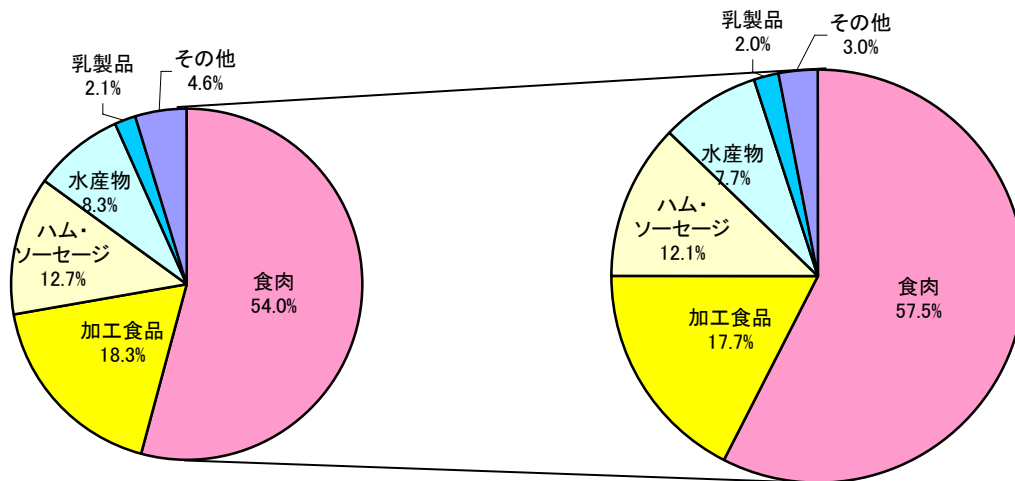
Ⅱ 連結売上内訳

(単位：百万円、%)

	20年3月期 第2四半期 累計期間 (実績)	21年3月期 第2四半期 累計期間 (実績)	対前年比	21年3月期 (計画)
ハム・ソーセージ	64,131	65,054	1.4%	133,500
加工食品	92,387	94,690	2.5%	189,500
食肉	273,660	308,373	12.7%	609,500
水産物	42,218	41,438	△1.8%	80,000
乳製品	10,637	10,936	2.8%	22,500
その他	23,415	16,323	△30.3%	40,000
合 計	506,448	536,814	6.0%	1,075,000

20年3月期2Q連結累計売上構成比

21年3月期2Q連結累計売上構成比

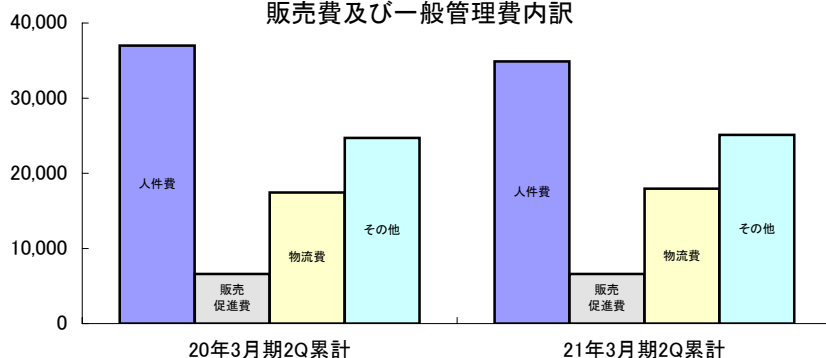


Ⅲ 連結販売費及び一般管理費内訳 (平成20年4月1日～平成20年9月30日)

(単位：百万円、%)

	20年3月期 第2四半期 累計期間 (実績)	21年3月期 第2四半期 累計期間 (実績)	対前年比
人件費	37,007	34,891	△5.7%
販売促進費	6,594	6,597	0.0%
物流費	17,444	17,962	3.0%
その他	24,704	25,111	1.6%
合 計	85,749	84,561	△1.4%

販売費及び一般管理費内訳



IV 連結その他収益及びその他費用内訳 (平成20年4月1日～平成20年9月30日)

1. その他収益 (単位：百万円、%)

	20年3月期 第2四半期 累計期間 (実績)	21年3月期 第2四半期 累計期間 (実績)	対前年比
受 取 利 息 ・ 配 当 金	469	608	29.6%
そ の 他	1,205	136	△88.7%
合 計	1,674	744	△55.6%

2. その他費用 (単位：百万円、%)

	20年3月期 第2四半期 累計期間 (実績)	21年3月期 第2四半期 累計期間 (実績)	対前年比
有 価 証 券 評 価 損	121	260	114.9%
固 定 資 産 減 損	2,499	1,084	△56.6%
特 別 退 職 金	3,107	1,720	△44.6%
為 替 差 損	—	5,162	—
支 社 移 転 費 用	774	—	—
そ の 他	278	384	38.1%
合 計	6,779	8,610	27.0%

V 地域別セグメント情報

当第2四半期連結累計期間 (平成20年4月1日～平成20年9月30日) (単位：百万円)

科 目	日 本	その他の 地 域	計	消 去 又は全社	連 結
売 上 高					
(1) 外部顧客に対する売上高	488,098	48,716	536,814	—	536,814
(2) セグメント間の内部売上高	497	47,064	47,561	(47,561)	—
計	488,595	95,780	584,375	(47,561)	536,814
営 業 費 用	468,865	95,207	564,072	(47,533)	516,539
営 業 利 益	19,730	573	20,303	(28)	20,275

(注) 1. 外部顧客に対する売上高は、連結会社の所在地別に分類しています。
2. 営業利益は、売上高から売上原価、販売費及び一般管理費を控除して算出しています。

前年同四半期連結累計期間 (平成19年4月1日～平成19年9月30日) (単位：百万円)

科 目	日 本	その他の 地 域	計	消 去 又は全社	連 結
売 上 高					
(1) 外部顧客に対する売上高	455,351	51,097	506,448	—	506,448
(2) セグメント間の内部売上高	390	46,768	47,158	(47,158)	—
計	455,741	97,865	553,606	(47,158)	506,448
営 業 費 用	447,594	100,183	547,777	(47,414)	500,363
営 業 利 益 (△ 損 失)	8,147	△ 2,318	5,829	256	6,085

(注) 1. 外部顧客に対する売上高は、連結会社の所在地別に分類しています。
2. 営業利益は、売上高から売上原価、販売費及び一般管理費を控除して算出しています。

当第2四半期連結会計期間（平成20年7月1日～平成20年9月30日）（単位：百万円）

科 目	日 本	その他の 地 域	計	消 去 又は全社	連 結
売 上 高					
(1)外部顧客に対する売上高	246,913	23,081	269,994	-	269,994
(2)セグメント間の内部売上高	276	26,187	26,463	(26,463)	-
計	247,189	49,268	296,457	(26,463)	269,994
営 業 費 用	236,983	48,828	285,811	(26,351)	259,460
営 業 利 益	10,206	440	10,646	(112)	10,534

- (注) 1. 外部顧客に対する売上高は、連結会社の所在地別に分類しています。
2. 営業利益は、売上高から売上原価、販売費及び一般管理費を控除して算出しています。

前年同四半期連結会計期間（平成19年7月1日～平成19年9月30日）（単位：百万円）

科 目	日 本	その他の 地 域	計	消 去 又は全社	連 結
売 上 高					
(1)外部顧客に対する売上高	231,463	26,151	257,614	-	257,614
(2)セグメント間の内部売上高	196	23,676	23,872	(23,872)	-
計	231,659	49,827	281,486	(23,872)	257,614
営 業 費 用	227,823	50,418	278,241	(23,852)	254,389
営 業 利 益（△損失）	3,836	△ 591	3,245	(20)	3,225

- (注) 1. 外部顧客に対する売上高は、連結会社の所在地別に分類しています。
2. 営業利益は、売上高から売上原価、販売費及び一般管理費を控除して算出しています。